潜水板（中層曳具）の効果と種類

海中に疑似餌を潜らせる曳具は、大きく分けると潜水板、中層曳具の2タイプがあります。

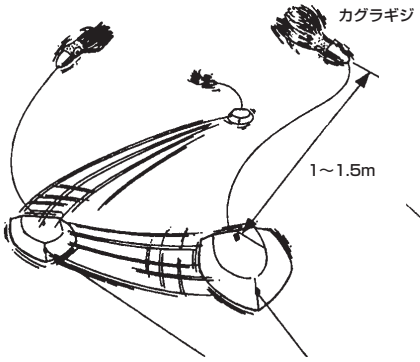
○潜水板
水流を受けることで板にアクションを生じさせ、後方に取り付けた疑似餌を本物のように動かす効果があります。
潜水板の振り方によって、食いつきの善し悪しがありますので、そのバランスがポイントになります。

○中層曳具
いろいろなタイプやサイズを選定することによって、潜水する深さを変えることができ、魚のいる遊泳層を探ることができるのが特徴です。曳具にはアクションがあまりないので、疑似餌の善し悪しが大切なポイントになります。

●潜水板

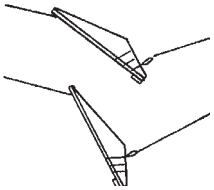
ＫＳ型潜水板（調整済み）
大きな振幅、安定した動きが特徴で、長い間好評を得ています。

サイズ／
8号：24cm ￥2,530
9号：27cm ￥2,695
10号：30cm ￥2,860



潜水板は、カツオ、メジマグロ系の魚を釣るのに有効です。疑似餌はできるだけ小さいものを使用して、左右に大きく振らせることが大切です。カツオには9～10号、メジマグロには10～11号が基本です。

潜水板、ツバメ板に魚が掛かった場合、海面に浮き出てきますので、素早く簡単に魚を取り込むことができます。

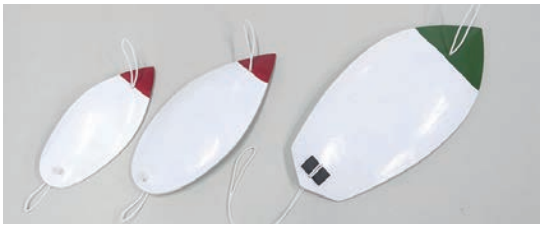


糸目を前にとれば浅く潜り、後ろにとれば深く潜ります。大切なのは船のスピードで、深く潜らせる場合は2～3ノットで曳いてください。

●ツバメ型中層板

イナダ、ハマチ、スズキ、ヒラメ、サワラ等の魚を釣るのに有効で、大きさは4サイズあります。各サイズとも3段階に深さの調節ができるように糸目がセットされています。

サイズ／
小：19cm ¥4,840
中：24cm ¥5,170
大：27cm ¥5,500
特大：30cm ¥5,940



●木の葉型潜行板

木の葉が沈み動くことで疑似餌にこきざみな動きを与えます。イナダ・ハマチ系
16cm ￥2,090
20cm ￥2,750

●カツオ板潜行板

板に鉛が付いているのですぐに沈み左右に振幅し、潜行板のように大きな力がかかりません。
26cm ￥4,180

海中に疑似餌を潜らせる曳具は数多くありますが、トローリング用タックルで使用でき潜行能力がある物は非常に少ないのが現状です。その中でも1996年に生まれ様々な実績を持つアクアシリーズに新たな仲間が加わり充実いたしました。

●アクアプレーン

全長：275mm、重さ：385g
新開発の三角ウィングを搭載。ウィング側より曳けばヒコーキとして、逆曳きで使用すれば中層を潜行します。船のスピード4ノットでテストしたところ、ラインの長さ30mで約5m潜行し上下・左右約1mの運動をしました。その時の抵抗力は約1.5～2.0kgでしたので、軽量タックル（20、30ポンド）で十分使用することができます。※ラインを長く出せば出すだけ深く潜ります。

●アクアジェットJr.

全長：190mm、重さ：360g
後ろのウィングを取り除き抵抗を軽減し、ポイントを変えることで深く潜行することに成功しました。船のスピード4ノットでテストしたところ、ラインの長さ30mで約7m潜行し上下・左右約1mの運動をしました。その時の抵抗力は約2.5～3.0kgですので軽量タックル30ポンドで十分使用することができます。
※スピード6ノットの場合の抵抗力は約5kgですので50ポンド以上のタックルが必要です。

●アクアジェット

全長：190mm、重さ：370g
海水の抵抗がない状態で海面から65°の角度で潜行していこうとする前後ウィングを搭載しています。船のスピード4ノットでテストしたところ、ラインの長さ30mで約8m潜行し上下・左右約1.2mの運動をしました。その時の抵抗力は4kgですので50ポンド以上のタックルが必要になります。
※スピード6ノットの場合の抵抗力は約6.5kgですので80ポンド以上のタックルが必要です。

●ビシヤマティザー

2m ￥1,100
アクアシリーズは後ろに付けるルアーが小さく軽量だと潜行する能力が落ちてしまいます。そのような時にビシヤマティザーを付けると効果的です。

CHECK POINT

カツオ、メジマグロ（5kg未満）等には、横ぶれ振動音の漁具（潜水版）は効果があります。また、メジマグロには成長する過程（5kg以上）で縦ぶれ振動音の漁具（プレーン・ジェット）が効果を発揮します。プレーン・ジェット・Jr使用時は、船のスピード3～5ノット、ラインの長さは40～80m、リーダーの長さは5～12mで使用すると効果的です。

※上記曳具は、魚が掛かっても浮上してきませんので、トローリングの場合はリールのドラグを調節してヒットさせ、曳釣りの場合にはハイパワーコードを使用するか、ツッキリ糸などを使用してください。